

2023.4.18

Euroluce 2023 特別展示

Dawns. The Lights of Tomorrow (夜明け - 明日の光)

キュレーション: Matteo Pirola (マッテオ・ピローラ)

展示デザイン: From outer Space

4月18日～23日、ホール9

光は対象(オブジェクト)ではなく主体(サブジェクト)であり、自然であれ人工であれ、常に驚くほど変化する大気・環境現象であり、すべては調査されるべきものです。光を見るための必要条件である暗闇が始まるところに、**光、火花、輝く点**があり、それは**星座、惑星、衛星、天体、発光体**を連想する**プロジェクト**となりうるのです。

無限に広がる星の**夜空**と、太陽のある**昼間の空**は、**デザインの実験場**となる**パレット**です。**テクノロジーと詩のバランスのとれた本展のリサーチと作品**は、ここで再解釈された**発光体**が、いかに**未来へ続く道を照らすか**を明確に示しています。「人工の星」は、現代の「天文学者 - デザイナー」が検証しているすべての**発光装置**であり、**発光現象、軌道上の球体、反射面、まばゆい日食、色を放つオーロラ、天体の色合いを示すオブジェクト(対象)**を作り出すものです。

「私たちの繊細な現代における光のデザインは、雰囲気やシンボルの担い手となり、テクノロジーと詩の間の物語が、**光り輝く地平線の極点をつなぎとめ、そこから明日を照らすオブジェクト(対象)**が生まれ、恒久的に点灯する**サブジェクト(主体)**となる」とマッテオ・ピローラは語ります。

展示デザイン

展示デザインは、**光の有無と、空間の認識を変化させるその能力**を中心に構成されています。暗闇、半暗闇、純粋な光、その逆など、**異なる光の雰囲気によって区別された空間**を横切る経路を辿り、**展示作品の本質を際立たせています**。一連のリズミカルなフレームは、2つの上張りが互いに向き合い使用されている素材を露出しながら移動する構造となっています。

「構造、上張り、構成論理により、光やその雰囲気とのさまざまな対話を確立することができる**インスタレーション**を実現した」とスタジオ **From outer space** はコメントしています。



MATTEO PIROLA (マテオ・ピローラ)

建築家・博士。ミラノ IULM 大学デザイン研究員。デザイン史、現代アート、クリエイティブ産業のためのイベント、インテリア建築とアウトフィッティングの講師を務める。出版作家、エッセイスト、独立キュレーター、ビジネスコンサルタントとして、リサーチやデザインプロジェクトに携わり、現代アート、デザイン、建築の批評家でもある。知識に対する好奇心が旺盛で、思想、物質、デザイン可能なものすべての目利きである。

Inventario 誌の編集者であり、ミラノの ADI デザインミュージアムで開催されるコンパッソ・ドーロの常設展示のためのアーカイブ研究活動の科学的コーディネーターを務める。

最近の出版物は以下の通り:

- *Bruno Vaerini* Architettura d'Atelier, 出版 LetteraVentidue, 2022;
- On Space / In Time: a Timeline, in Home Stories, 出版 Vitra Design Museum, 2020;
- I Talenti Italiani. Mente, Mano, Macchina, 出版 Marsilio - Fondazione Cologni per le Arti e i Mestieri, 2020;
- Bauhaus Int. & Co., in Bauhaus 100. Imparare Fare Pensare, 出版 Mondadori Electa, Milan, 2019;
- Design in Europa. Le Sfide della Scienza, Volume II - Scienze e Tecnica, 出版 Istituto della Enciclopedia Italiana - Treccani, Rome, 2018.

FROM OUTER SPACE

From outer Space は、Anna Paola Buonanno と Piergiorgio Italiano が率いる、空間デザインを通して経済、社会、環境のダイナミクスを探求するための学際的なデザインとリサーチの実践機関。

展示の可能性に関する研究は、スタジオの理論的かつ専門的な仕事の中心であり、最近では、Marsell Paradise、Edicola Radetzky、Dropcity の展示プロジェクトをキュレーションしている。国際的な ReCall コンペティションで 1 位を獲得し、WUHO Gallery (ロサンゼルス)、Felleshus (ベルリン)、M4gastatelier (アムステルダム)、Falstadsenteret (エクネ、ノルウェー)、Camp Design Gallery、DOCVA/Viafarini、Pep-Hole、Subalterno 1, Supersalone (ミラノ) と Fahrenheit39 (Ravenna) で自身の仕事を発表。また、Bulthaup Italia、Icon Panorama、IFI Spa、Leroy Merlin、Mousse Publishing、ミラノ工科大学などとのコラボレーション。Anna Paola Buonanno と Piergiorgio Italiano は、ミラノ工科大学、IED Turin、NABA Milan で教鞭をとる。

プレスお問い合わせ先: 山本幸 yuki@milanosalone.com

International press info: Marva Griffin-Patrizia Malfatti press@salonemilano.it